

対象校No. 126
注4

学校コード F127110107861
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

事前相談

注2
大阪教育大学 教育学部 学校教育教員養成課程（夜間）

**【事前相談】設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正前大学設置基準適用）**

国立大学法人大阪教育大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	事務局総務部経営戦略課
職名・氏名	シュニン カイダジュンイチ 主任・甲斐田純一
電話番号	072-978-3334
（夜間）	072-978-3334
e-mail	kikaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

教育学部

＜学校教育教員養成課程（夜間）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人大阪教育大学

(2) 大 学 名

大阪教育大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒543-0054 大阪府大阪市天王寺区南河堀町4-88
(〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(オカモト イクコ) 岡本 幾子 (令和4年4月)	—	
教員養成課程長	(ツチヤマ カズヒサ) 土山 和久 (令和4年4月)	—	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設置時の計画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 学校教育 教員養成課程 学士(教育学)	教育学・保育 学関係	5 年	40 人	2年次 0 人 3年次 25 人 4年次 0 人	275 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	40 () [-]	人 () [-]	-	1.02 倍	1.02 倍	
志願者数	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	118 () [-]	人 () [-]				
受験者数	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	66 () [-]	人 () [-]				
合格者数	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	45 () [-]	人 () [-]				
B 入学者数	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	41 () [-]	人 () [-]				
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		-		1.02					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	41 [－] (－)	－ [－] (－)	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計			－ [－] (－)	－ [－] (－)			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	41 [－] (－)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	41 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 学校教育教員養成課程（夜間）>

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養教育科目群	導入科目	大学入門ゼミ	1前	1							
	小計（1科目）	—	1	0	0	1	0	1	0	0	
	分野別科目 （思索と芸術）	文学入門a	1・2・3・4・5期	1							1
		文学入門b	1・2・3・4・5期		1						1
		芸術a	1・2・3・4・5期	1							1
		芸術b	1・2・3・4・5期	1							1
	分野別科目 （国際と地域）	言語表現とコミュニケーションa	1・2・3・4・5期	1							1
		言語表現とコミュニケーションb	1・2・3・4・5期	1							1
		大阪学a	1・2・3・4・5期	1		1					
		大阪学b	1・2・3・4・5期	1		1					
	分野別科目 （歴史と社会）	日本国憲法	1・2・3・4・5期	2							1
		人文・社会科学入門a	1・2・3・4・5期	1							1
		人文・社会科学入門b	1・2・3・4・5期	1							1
	分野別科目 （人間と生活）	ダイバーシティと人権a	1・2・3・4・5期	1							1
		ダイバーシティと人権b	1・2・3・4・5期	1							1
		心理学入門a	1・2・3・4・5期	1				1			
		心理学入門b	1・2・3・4・5期	1				1			
	分野別科目 （生命と環境）	生物の情報a	1・2・3・4・5期	1							1
		生物の情報b	1・2・3・4・5期	1							1
		健康と科学a	1・2・3・4・5期	1				1			
		健康と科学b	1・2・3・4・5期	1				1			
	分野別科目 （数理情報と自然）	数学概論a	1・2・3・4・5期	1		1					
		数学概論b	1・2・3・4・5期	1		1					
		身の回りの科学a	1・2・3・4・5期	1							1
		身の回りの科学b	1・2・3・4・5期	1							1
	分野別科目 （教育とキャリア）	大阪の教育実践a	1・2・3・4・5期	1				1			
		大阪の教育実践b	1・2・3・4・5期	1				1			
		キャリア教育a	1・2・3・4・5期	1							1
		キャリア教育b	1・2・3・4・5期	1							1
	分野別科目 （多様性と共生社会）	身体表現とコミュニケーションa	1・2・3・4・5期	1							1
		身体表現とコミュニケーションb	1・2・3・4・5期	1							1
		ジェンダーとセクシュアリティa	1・2・3・4・5期	1							1
		ジェンダーとセクシュアリティb	1・2・3・4・5期	1							1
	小計（31科目）	—	4	28	0	2	0	2	0	0	11
グローバル教育科目	英語	英語IA	1前	1			1				1
		英語IB	1後	1			1				1
		英語II（外国語コミュニケーション）	2前・後	2			1				1
	ドイツ語	ドイツ語IA	1前	1							1
		ドイツ語IB	1後	1							1
		ドイツ語II	2前	1							1
	中国語	中国語IA	1前	1							1
		中国語IB	1後	1							1
		中国語II	2前	1							1
	韓国語	韓国語IA	1前	1							1
		韓国語IB	1後	1							1
		韓国語II	2前	1							1
	国際協働学習	国際協働学習	2前・後	1							3
	小計（13科目）	—	5	9	0	0	1	0	0	0	8
	体育科目	スポーツ実技I	1前	1				1			1
		スポーツ実技II	1後	1				1			1
		小計（2科目）	—	2	0	0	0	0	1	0	1
	情報活用科目	情報活用基礎I	1前	1							1
		情報活用基礎II	1前	1							1
		情報活用基礎III	1後	1		1	1	1			
		小計（3科目）	—	3	0	0	1	1	1	0	1
教職教育科目群	教職基礎科目	人権教育の基礎	3後	1							1
		特別支援教育の実践	2前	1			1				
		発達障害教育論	3前	1							1
		保育と子ども	3後	1							2
		人権教育の実践	4後	1							1
	小計（5科目）	—	1	4	0	0	1	0	0	0	4
	教職専門科目	教職へのとびら	1前	1			1				1
		教育総論	2前・後	1			1				
		特別支援教育の基礎	2前	1			1				
		学校の役割と経営	3前・後	1							2
		発達と学習の心理学a	3前	1				1			1
		発達と学習の心理学b	3後	1				1			1
		ICT活用の理論と方法	3前	1							1
		生徒指導論	3前	1							1
		進路指導論	3後	1							1
		教育相談の理論と方法	3前・後	1							1
		学校安全a	4前	1							2
		学校安全b	4前	1							2

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養教育科目群	導入科目	スタディスキル入門	1前	1				1		1	
	小計（1科目）	—	1	0	0	1	0	1	0	0	
	分野別科目 （思索と芸術）	文学入門	1・2・3・4・5期	1							1
		比較文学入門	1・2・3・4・5期	1							1
		芸術（器楽）	1・2・3・4・5期	1							1
		芸術（歌唱）	1・2・3・4・5期	1							1
	分野別科目 （国際と地域）	言語表現とコミュニケーションa	1・2・3・4・5期	1							1
		言語表現とコミュニケーションb	1・2・3・4・5期	1							1
		大阪学・歴史コース	1・2・3・4・5期	1		1					
		大阪学・賑わいコース	1・2・3・4・5期	1		1					
	分野別科目 （歴史と社会）	日本国憲法	1・2・3・4・5期	2							1
		人文・社会科学入門（身近な経済）	1・2・3・4・5期	1							1
		人文・社会科学入門（経済入門）	1・2・3・4・5期	1							1
	分野別科目 （人間と生活）	心理学入門（学習・認知・情動）	1・2・3・4・5期	1							1
		心理学入門（教育・発達）	1・2・3・4・5期	1							1
	分野別科目 （生命と環境）	細胞の生物学	1・2・3・4・5期	1							1
		生物の情報	1・2・3・4・5期	1							1
		健康と科学	1・2・3・4・5期	1				1			
		スポーツと科学	1・2・3・4・5期	1				1			
	分野別科目 （数理情報と自然）	数学概論（数列編）	1・2・3・4・5期	1							1
		数学概論（関数編）	1・2・3・4・5期	1							1
		身の回りの科学（用いを見える）	1・2・3・4・5期	1							1
		身の回りの科学（作ってみる）	1・2・3・4・5期	1							1
	分野別科目 （教育とキャリア）	大阪の教育実践I	1・2・3・4・5期	1							1
		大阪の教育実践II	1・2・3・4・5期	1							1
		キャリアデザイン（自己表現）	1・2・3・4・5期	1							1
		キャリア形成（教員）	1・2・3・4・5期	1							1
	分野別科目 （多様性と共生社会）	身体表現とコミュニケーション（運動編）	1・2・3・4・5期	1							1
		身体表現とコミュニケーション（芸術編）	1・2・3・4・5期	1							1
		ジェンダーと性の多様性—気から考える編	1・2・3・4・5期	1							1
		ジェンダーと性の多様性—社会を動かす編	1・2・3・4・5期	1							1
	小計（29科目）	—	2	28	0	1	1	0	0	0	12
グローバル教育科目	英語	英語IA	1前	1				2			
		英語IB	1後	1				2			
		英語II（外国語コミュニケーション）	2前・後	2				1			1
	ドイツ語	ドイツ語IA	1前	1							1
		ドイツ語IB	1後	1							1
		ドイツ語II	2前	1							1
	中国語	中国語IA	1前	1							1
		中国語IB	1後	1							1
		中国語II	2前	1							1
	韓国語	韓国語IA	1前	1							1
		韓国語IB	1後	1							1
		韓国語II	2前	1							1
	国際協働学習	国際協働学習	2前・後	1							3
	小計（13科目）	—	5	9	0	0	2	0	0	0	7
	体育科目	スポーツ実技I	1前	1				1			1
		スポーツ実技II	1後	1				1			1
		小計（2科目）	—	2	0	0	0	1	0	0	1
	情報活用科目	情報活用基礎I	1前	1							1
		情報活用基礎II	1後	1							1
		情報活用基礎III	1後	1							1
		小計（3科目）	—	3	0	0	0	0	0	0	1
教職教育科目群	教職基礎科目	人権教育の基礎	3後	1							1
		特別支援教育の実践	2前	1			1				
		発達障害教育論	3前	1							1
		保育と子ども	3後	1							2
		人権教育の実践	4後	1							1
	小計（5科目）	—	1	4	0	0	1	0	0	0	4
	教職専門科目	教職へのとびら	1前	1				1			1
		教育総論	2前・後	1				1			
		特別支援教育の基礎	2前	1				1			
		学校の役割と経営	3前・後	1							1
		発達と学習の心理学a	3前	1							2
		発達と学習の心理学b	3後	1							2
		ICT活用の理論と方法	3前	1							1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	教育課程論（カリキュラム・マネジメントを含む。）	4後	1								1
	道徳教育論a	4前・後	1				1				1
	道徳教育論b	4前・後	1				1				1
	総合的な学習の時間の指導法	4後	1								2
	特別活動論	4後	1								2
	教育方法論	4後	1								1
	教育実習I	4通	2								7
	教育実習II	5通	2								7
	教職実践演習（小）	5通	2			3	5	3			10
	小計（21科目）	—	25	0	0	3	5	3	0	0	24
	フラッグシ ップ指定科目	ダイバーシティと教育	1前	1			1				
		現代社会と子どもの権利	1前	1			1				
		多様な子どもとインクルーシブ教育	1前	1							1
		外国人の子どもの理解と支援	1後	1							1
		教職のための省察入門	1前	1			1				1
		教科横断と探究学習I	2前	1							4
		教育データの活用I	2前	1							2
		ファシリテーターとしての教員I	2後	1							3
		学習者中心の授業デザインI	2後	1							3
		教職専門性と省察	2通	1							1
		学習者中心の授業デザインII	3後	1							3
	小計（11科目）	—	11	0	0	0	2	0	0	0	12
	初等教科教育 法科目	初等国語科教育法（書写を含む。）	3前・後	1			1				
		初等社会科教育法	3後	1							1
		算数科教育法	4前・後	1							1
		初等理科教育法	3前・後	1				1			1
		生活科教育法	2前・後	1							1
		初等音楽科教育法	4前・後	1							2
		図画工作科教育法	3前・後	1							1
		初等家庭科教育法	4前・後	1							1
		体育科教育法	4前	1				1			
		初等英語科教育法	3前・後	1			1				1
	小計（10科目）	—	10	0	0	1	1	2	0	0	9
	学校インター ンシップ科目	学校インターンシップ体験	2通	2			3	5	3		10
	小計（1科目）	—	2	0	0	3	5	3	0	0	10
専 攻 専 門 科 目 群	小学校教科専 門科目	国語a（書写及びICTの活用を含む。）	1後	1			1				
		国語b（書写及びICTの活用を含む。）	1後	1			1				
		社会a（ICTの活用を含む。）	1前・後	1							2
		社会b（ICTの活用を含む。）	1前・後	1							2
		算数a（ICTの活用を含む。）	1前・後	1			1				1
		算数b（ICTの活用を含む。）	1前・後	1			1				1
		理科a（ICTの活用を含む。）	1前・後	1					1		
		理科b（ICTの活用を含む。）	1前・後	1					1		
		生活a（ICTの活用を含む。）	2後	1			1		1		2
		生活b（ICTの活用を含む。）	2後	1			1		1		2
		音楽a（ICTの活用を含む。）	2前・後	1							1
		音楽b（ICTの活用を含む。）	2前・後	1							2
		図画工作a（ICTの活用を含む。）	2前・後	1							2
		図画工作b（ICTの活用を含む。）	2前・後	1							2
		家庭a（ICTの活用を含む。）	2前・後	1							1
		家庭b（ICTの活用を含む。）	2前・後	1							1
		体育a（ICTの活用を含む。）	2前	1				1			1
		体育b（ICTの活用を含む。）	2後	1				1			1
		英語a（ICTの活用を含む。）	3前	1			1				
		英語b（ICTの活用を含む。）	3前	1			1				
	小計（20科目）	—	20	0	0	3	1	2	0	0	13
	系列専門科目	教育学研究Ia	3後	1			1				
		教育学研究Ib	3後	1			1				
		学校インターンシップI	3通	2		3	5	3			10
		ものづくり教育研究a	3前	1							1
		ものづくり教育研究b	3前	1							1
		社会科学習指導研究a	3前	1		1					
		社会科学習指導研究b	3前	1		1					
		数学・数学教育研究a	3後	1		1					
		数学・数学教育研究b	3後	1		1					
		理科の実験Ia	3後	1				1			
		理科の実験Ib	3後	1				1			
		学校保健学a	3後	1						1	
		学校保健学b	3後	1						1	
		生活科学a	3前	1						1	
		生活科学b	3前	1						1	
		教育学研究IIa	4前	1						1	
		教育学研究IIb	4前	1						1	
		応用行動分析学a	4前	1			1				
		応用行動分析学b	4前	1			1				
		心理学特講a	4後	1						1	
		心理学特講b	4後	1						1	
		心理学研究法a	4前	1						1	
		心理学研究法b	4前	1						1	
		学校インターンシップII	4前	2		3	5	3			10
		国語科学習指導研究a	4前	1							1
		国語科学習指導研究b	4前	1							1
		英語科学習指導研究a	4後	1			1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専攻専門科目群	教育課程論（カリキュラム・マネジメントを含む。）	4後	1								3
	道徳教育論a	4前・後	1				1				1
	道徳教育論b	4前・後	1				1				1
	総合的な学習の時間の指導法	4後	1								2
	特別活動論	4後	1								2
	教育方法論	4後	1					1			3
	教育実習Ⅰ	4通	2								7
	教育実習Ⅱ	5通	3								7
	教職実践演習（小）	5通	2			3	6	1			10
	小計（21科目）	—	25	0	0	3	6	1	0	0	23
	フラッグシ ップ指定科目	ダイバーシティと教育	1前	1			1				
	現代社会と子どもの権利	1前	1			1					
	多様な子どもとインクルーシブ教育	1前	1				1				10
	外国人の子どもの理解と支援	1後	1								2
	教職のための省察入門	1前	1				1				1
	教科横断と探究学習Ⅰ	2前	1								4
	教育データの活用Ⅰ	2前	1								2
	ファシリテーターとしての教員Ⅰ	2後	1								3
	学習者中心の授業デザインⅠ	2後	1								3
	教職専門性と省察	2通	1								1
	学習者中心の授業デザインⅡ	3後	1								3
	小計（11科目）	—	11	0	0	1	3	0	0	0	22
	初等教科教育 法科目	初等国語科教育法（書写を含む。）	3前・後	1			1				
		初等社会科教育法	3後	1							1
		算数科教育法	4前・後	1							1
		初等理科教育法	3前・後	1				1			
		生活科教育法	2前・後	1							1
		初等音楽科教育法	4前・後	1							2
		図画工作科教育法	3前・後	1							1
		初等家庭科教育法	4前・後	1							1
		体育科教育法	4前	1				1			
		初等英語科教育法	3前・後	1			1				1
	小計（10科目）	—	10	0	0	1	2	1	0	0	8
	学校インター ンシップ科目	学校インターンシップ体験	2通	2			3	6	1		10
	小計（1科目）	—	2	0	0	3	6	1	0	0	10
	小学校教科専 門科目	国語a（書写及びICTの活用を含む。）	1後	1			1				
		国語b（書写及びICTの活用を含む。）	1後	1			1				
		社会a（ICTの活用を含む。）	1前・後	1							2
		社会b（ICTの活用を含む。）	1前・後	1							1
		算数a（ICTの活用を含む。）	1前・後	1							2
		算数b（ICTの活用を含む。）	1前・後	1							2
		理科a（ICTの活用を含む。）	1前・後	1					1		
		理科b（ICTの活用を含む。）	1前・後	1					1		
		生活a（ICTの活用を含む。）	2後	1			1		1		2
		生活b（ICTの活用を含む。）	2後	1			1		1		2
		音楽a（ICTの活用を含む。）	2前・後	1							1
	音楽b（ICTの活用を含む。）	2前・後	1							2	
	図画工作a（ICTの活用を含む。）	2前・後	1							2	
	図画工作b（ICTの活用を含む。）	2前・後	1							2	
	家庭a（ICTの活用を含む。）	2前・後	1							1	
	家庭b（ICTの活用を含む。）	2前・後	1							1	
	体育a（ICTの活用を含む。）	2前	1				1			1	
	体育b（ICTの活用を含む。）	2後	1				1			1	
	英語a（ICTの活用を含む。）	3前	1			1					
	英語b（ICTの活用を含む。）	3前	1			1					
小計（20科目）	—	20	0	0	2	2	1	0	0	15	
系列専門科目	教育学研究Ⅰa	3後	1			1					
	教育学研究Ⅰb	3後	1			1					
	学校インターンシップⅠ	3通	2		3	6	1			10	
	ものづくり教育研究a	3前	1							1	
	ものづくり教育研究b	3前	1							1	
	社会科学習指導研究a	3前	1		1						
	社会科学習指導研究b	3前	1		1						
	数学・数学教育研究a	3後	1							1	
	数学・数学教育研究b	3後	1							1	
	理科の実験Ⅰa	3後	1				1				
	理科の実験Ⅰb	3後	1				1				
	学校保健学a	3後	1				1				
	学校保健学b	3後	1				1				
	生活科学a	3前	1						1		
	生活科学b	3前	1						1		
	教育学研究ⅡⅠa	4前	1						1		
	教育学研究ⅡⅠb	4前	1						1		
	応用行動分析学a	4前	1			1					
	応用行動分析学b	4前	1			1					
	心理学特講a	4後	1		1						
	心理学特講b	4後	1		1						
	心理学研究法a	4前	1		1						
	心理学研究法b	4前	1		1						
	学校インターンシップⅡ	4前	2		3	6	1			10	
	国語科学習指導研究a	4前	1						1		
	国語科学習指導研究b	4前	1						1		
	英語科学習指導研究a	4後	1			1					

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	英語科学習指導研究b	4後		1			1				
	理科の実験IIa	4前		1				1			
	理科の実験IIb	4前		1					1		
	音楽科学習指導研究a	4後		1							1
	音楽科学習指導研究b	4後		1							1
	図画工作科学習指導研究a	4後		1							1
	図画工作科学習指導研究b	4後		1							1
	体育科学習指導研究a	4後		1				1			
	体育科学習指導研究b	4後		1					1		
	課題研究I	5前	1			3	3	2			10
	課題研究II	5後	1			3	3	2			10
	小計 (38科目)	—	2	38	0	3	5	3	0	0	12
学校図書館司書教 諭資格取得科目	学校経営と学校図書館	2・3・4後		2							1
	学校図書館メディアの構成	2・3・4後		2							1
	学習指導と学校図書館	2・3・4前		2							1
	読書教育と図書館	2・3・4前		2							1
	情報メディアの活用	2・3・4後		2							1
	小計 (5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	5
卒業研究	卒業研究	5通	4			3	5	3			10
	小計 (1科目)	—	4	0	0	3	5	3	0	0	10
合計 (162科目)			—	90	89	0	3	5	3	0	79
卒業要件及び履修方法											
卒業の要件は、5年以上在学し、各専攻・コースの卒業に必要な以下の単位数を修得した者について、教授会の議を経て学長が修了を認定し、学士の学位を授与する。 各学期に履修申請できる単位数は、26単位（所定の単位を優れた成績をもって修得した者については、30単位）以下とする。											
【小学校教育（夜間）5年専攻】 教養教育科目群 導入科目 1単位 基盤教養科目 15単位 グローバル教育科目 8単位 体育科目 2単位 情報活用科目 3単位 教職教育科目群 教職基礎科目 3単位 教職専門科目 25単位 フラッグシップ指定科目 11単位 初等教科教育法科目 10単位 学校インターンシップ科目 2単位 専攻専門科目群 小学校教科専門科目 20単位 系列専門科目 12単位 自由選択科目 8単位※ 卒業研究 4単位 合計124単位 ※自由選択科目は、卒業要件としての単位数を超えて修得した以下の科目とする。 (ア) 教養教育科目群（基盤教養科目を除く） (イ) 教職教育科目群 (ウ) 専攻専門科目群 (エ) 学校図書館司書教諭資格取得科目											

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	英語科学習指導研究b	4後		1			1				
	理科の実験IIa	4前		1				1			
	理科の実験IIb	4前		1					1		
	音楽科学習指導研究a	4後		1							1
	音楽科学習指導研究b	4後		1							1
	図画工作科学習指導研究a	4後		1							1
	図画工作科学習指導研究b	4後		1							1
	体育科学習指導研究a	4後		1				1			
	体育科学習指導研究b	4後		1					1		
	課題研究I	5前	1			3	6	1			10
	課題研究II	5後	1			3	6	1			10
	小計 (38科目)	—	2	38	0	3	6	1	0	0	12
学校図書館司書教 諭資格取得科目	学校経営と学校図書館	2・3・4後		2							1
	学校図書館メディアの構成	2・3・4後		2							1
	学習指導と学校図書館	2・3・4前		2							1
	読書教育と図書館	2・3・4前		2							1
	情報メディアの活用	2・3・4後		2							1
	小計 (5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	5
卒業研究	卒業研究	5通	4			3	6	1			10
	小計 (1科目)	—	4	0	0	3	6	1	0	0	10
合計 (160科目)			—	88	89	0	3	6	1	0	88
卒業要件及び履修方法											
卒業の要件は、5年以上在学し、各専攻・コースの卒業に必要な以下の単位数を修得した者について、教授会の議を経て学長が修了を認定し、学士の学位を授与する。 各学期に履修申請できる単位数は、26単位（所定の単位を優れた成績をもって修得した者については、30単位）以下とする。											
【小学校教育（夜間）5年専攻】 教養教育科目群 導入科目 1単位 基盤教養科目 15単位 グローバル教育科目 8単位 体育科目 2単位 情報活用科目 3単位 教職教育科目群 教職基礎科目 3単位 教職専門科目 25単位 フラッグシップ指定科目 11単位 初等教科教育法科目 10単位 学校インターンシップ科目 2単位 専攻専門科目群 小学校教科専門科目 20単位 系列専門科目 12単位 自由選択科目 8単位※ 卒業研究 4単位 合計124単位 ※自由選択科目は、卒業要件としての単位数を超えて修得した以下の科目とする。 (ア) 教養教育科目群（基盤教養科目を除く） (イ) 教職教育科目群 (ウ) 専攻専門科目群 (エ) 学校図書館司書教諭資格取得科目											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
(例：記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度】（新）→【令和5年度】（新）→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】（旧）→【令和5年度】（旧）

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・科目の設置趣旨及び科目内容をより適切に表すよう、「大学入門ゼミ」の名称を「スタディスキル入門」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「文学入門a」の名称を「文学入門」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「文学入門b」の名称を「比較文学入門」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「芸術a」の名称を「芸術(器楽)」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「芸術b」の名称を「芸術(歌唱)」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「大阪学a」の名称を「大阪学・歴史コース」に、配当年次を「1・2・3・4・5通」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「大阪学b」の名称を「大阪学・賑わいコース」に、配当年次を「1・2・3・4・5通」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「人文・社会科学入門a」の名称を「人文・社会科学入門(身近な経済)」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「人文・社会科学入門b」の名称を「人文・社会科学入門(経済入門)」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「心理学入門a」の名称を「心理学入門(学習・認知・情動)」に、専任教員等の配置を「講師1」から「兼1」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「心理学入門b」の名称を「心理学入門(教育・発達)」に、専任教員等の配置を「講師1」から「兼1」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「生物の情報a」の名称を「細胞の生物学」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「生物の情報b」の名称を「生物の情報」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「健康と科学a」の名称を「健康と科学」に変更した。専任教員の昇任により、専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「健康と科学b」の名称を「スポーツと科学」に変更した。専任教員の昇任により、専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「数学概論a」の名称を「数学概論(数列編)」に変更した。専任教員の逝去により、専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「数学概論b」の名称を「数学概論(関数編)」に変更した。専任教員の逝去により、専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「身の回りの科学a」の名称を「身の回りの科学(問いを発見する)」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「身の回りの科学b」の名称を「身の回りの科学(作ってみる)」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「大阪の教育実践a」の名称を「大阪の教育実践I」に変更した。教員配置の変更により、専任教員等の配置を「講師1」から「兼1」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「大阪の教育実践b」の名称を「大阪の教育実践II」に変更した。教員配置の変更により、専任教員等の配置を「講師1」から「兼1」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「キャリア教育a」の名称を「キャリアデザイン(自己表現)」に、配当年次を「1・2・3・4・5前」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「キャリア教育b」の名称を「キャリア形成(教員)」に、配当年次を「1・2・3・4・5前」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「身体表現とコミュニケーションa」の名称を「身体表現とコミュニケーション(理論編)」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「身体表現とコミュニケーションb」の名称を「身体表現とコミュニケーション(実践編)」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「ジェンダーとセクシュアリティa」の名称を「ジェンダーと性の多様性-私から考える編」に変更した。
- ・カリキュラム編成の見直しにより、「ジェンダーとセクシュアリティb」の名称を「ジェンダーと性の多様性-社会を読み解く編」に変更した。
- ・時間割編成の都合により、「英語[A]」の専任教員等の配置を「准教授1、兼1」「准教授2」に変更した。
- ・時間割編成の都合により、「英語[B]」の専任教員等の配置を「准教授1、兼1」「准教授2」に変更した。
- ・専任教員の昇任の理由により、「スポーツ実技I」の専任教員等の配置を「講師1、兼1」から「准教授1、兼1」に変更した。
- ・専任教員の昇任の理由により、「スポーツ実技II」の専任教員等の配置を「講師1、兼1」から「准教授1、兼1」に変更した。
- ・時間割編成の都合により、「情報活用基礎I」の配当年次を「1前」から「1後」に変更した。
- ・時間割編成の都合により、「情報活用基礎II」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師1」から「兼1」に変更した。
- ・教員配置の変更により、「学校の役割と経営」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更した。
- ・教員配置の変更により、「発達と学習の心理学a」の専任教員等の配置を「講師1、兼1」から「兼2」に変更した。
- ・教員配置の変更により、「発達と学習の心理学b」の専任教員等の配置を「講師1、兼1」から「兼2」に変更した。
- ・教員配置の変更により、「教育相談の理論と方法」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更した。
- ・教員配置の変更及び時間割編成の都合により、「教育課程論(カリキュラム・マネジメントを含む。)」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1、兼3」に変更した。
- ・教員配置の変更及び時間割編成の都合により、「教育方法論」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1、兼3」に変更した。
- ・専任教員の逝去、専任教員の昇任及び教員配置の変更の理由により、「教職実践演習(小)」の専任教員等の配置を「教授3、准教授5、講師3、兼10」を「教授3、准教授6、講師1、兼10」に変更した。
- ・時間割編成の都合により、「現代社会と子どもの権利」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更した。
- ・時間割編成の都合により、「多様な子どもとインクルーシブ教育」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1、兼10」に変更した。
- ・時間割編成の都合により、「外国人の子どもの理解と支援」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更した。
- ・教員配置の変更により、「初等理科教育法」の専任教員等の配置を「講師1、兼1」から「講師1」に変更した。
- ・専任教員の昇任の理由により、「体育科教育法」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更した。
- ・専任教員の逝去、専任教員の昇任及び教員配置の変更の理由により、「学校インターンシップ体験」の専任教員等の配置を「教授3、准教授5、講師3、兼10」を「教授3、准教授6、講師1、兼10」に変更した。
- ・時間割編成の都合により、「社会b(ICTの活用を含む。)」の専任教員等の配置を「兼2」を「兼1」に変更した。
- ・専任教員の逝去の理由により、「算数a(ICTの活用を含む。)」の専任教員等の配置を「教授1、兼1」から「兼2」に変更した。
- ・専任教員の逝去の理由により、「算数b(ICTの活用を含む。)」の専任教員等の配置を「教授1、兼1」から「兼2」に変更した。
- ・専任教員の昇任の理由により、「体育a(ICTの活用を含む。)」の専任教員等の配置を「講師1、兼1」から「准教授1、兼1」に変更した。
- ・専任教員の昇任の理由により、「体育b(ICTの活用を含む。)」の専任教員等の配置を「講師1、兼1」から「准教授1、兼1」に変更した。
- ・専任教員の逝去、専任教員の昇任及び教員配置の変更の理由により、「学校インターンシップI」の専任教員等の配置を「教授3、准教授5、講師3、兼10」を「教授3、准教授6、講師1、兼10」に変更した。
- ・専任教員の逝去の理由により、「数学・数学教育研究a」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更した。
- ・専任教員の昇任の理由により、「数学・数学教育研究b」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更した。
- ・教員配置の変更により、「学校保健学a」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更した。
- ・教員配置の変更により、「学校保健学b」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更した。
- ・教員配置の変更により、「心理学特講a」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更した。
- ・教員配置の変更により、「心理学特講b」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更した。
- ・教員配置の変更により、「心理学研究法a」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更した。
- ・教員配置の変更により、「心理学研究法b」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更した。
- ・専任教員の逝去、専任教員の昇任及び教員配置の変更の理由により、「学校インターンシップII」の専任教員等の配置を「教授3、准教授5、講師3、兼10」を「教授3、准教授6、講師1、兼10」に変更した。
- ・専任教員の昇任の理由により、「体育科学習指導研究a」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更した。
- ・専任教員の昇任の理由により、「体育科学習指導研究b」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更した。
- ・専任教員の逝去、専任教員の昇任及び教員配置の変更の理由により、「課題研究I」の専任教員等の配置を「教授3、准教授5、講師3、兼10」を「教授3、准教授6、講師1、兼10」に変更した。
- ・専任教員の逝去、専任教員の昇任及び教員配置の変更の理由により、「課題研究II」の専任教員等の配置を「教授3、准教授5、講師3、兼10」を「教授3、准教授6、講師1、兼10」に変更した。
- ・専任教員の逝去、専任教員の昇任及び教員配置の変更の理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授3、准教授5、講師3、兼10」を「教授3、准教授6、講師1、兼10」に変更した。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
80 科目	82 科目	0 科目	162 科目	78 科目 [△2]	82 科目 [0]	0 科目 [0]	160 科目 [△2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	ダイバーシティと人権a	1	1・2・3・4・5前	一般	必修	カリキュラム編成の見直しによる廃止
2	ダイバーシティと人権b	1	1・2・3・4・5前	一般	必修	カリキュラム編成の見直しによる廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

番号1、2の廃止科目は、基盤教養科目であり、カリキュラム編成の見直しの結果、廃止としているが、学生が卒業要件に必要な15単位を修得する上で十分な科目数を開講しているため、学生の履修に影響は生じないと考え

る。
なお、学生へは履修の手引等により適切に周知を行っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{162} = \boxed{1.23} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 借用面積：2,409㎡ 借用期間：1年（毎年更新）			
	校 舎 敷 地	229,161 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	229,161 ㎡				
	運動場用地	107,723 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	107,723 ㎡				
	小 計	336,884 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	336,884 ㎡				
	そ の 他	378,817 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	378,817 ㎡				
	合 計	715,701 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	715,701 ㎡				
(2)校舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		81,469 ㎡ (78,742㎡)	0 ㎡ (0㎡)	0 ㎡ (0㎡)	81,469 ㎡ (78,742㎡)				
(3)教室等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 用途変更に伴う増減 （6）		
		125 室	20 室 16	153 室 154	9 室 （補助職員 0人）	2 室 （補助職員 0人）			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		所属変更及び逝去に伴う変更（6）		
		教育学部学校教育教員養成課程（夜間）			10 室 11 室				
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 利用不可資料の廃棄等により減少（6）
	教育学部 学校教育 教員養成課程	971,064 [217,940] (971,064 [217,940])	22,529 [7,234] (22,529 [7,234])		3,816 [3,816] (3,816 [3,816])	15,035 19,561 (15,035) 19,561	0 (0)	0 (0)	
	計	971,064 [217,940] (971,064 [217,940])	22,529 [7,234] (22,529 [7,234])		3,816 [3,816] (3,816 [3,816])	15,035 19,561 (15,035) 19,561	0 (0)	0 (0)	
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		8,335 ㎡		855		1,502,700			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		7,629 ㎡		野球場		テニスコート（オムニ8面、クレー7面）			
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	大阪教育大学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科のみ)	開設 年度	所在地	備 考		
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度				
教育学部	－	900	0	2040	－	1.05	1.02	－	－	－			
学校教育教員養成課程	4	480	0	480	学士 (教育学)	1.03	1.03	－	令和6	大阪府柏原市旭ヶ丘四丁目698番地の1及び 大阪府大阪市天王寺区南河堀町4番88号			
学校教育教員養成課程（夜間）	5	40	0	40	学士 (教育学)	1.02	1.02	－	令和6	大阪府大阪市天王寺区南河堀町4番88号			
養護教諭養成課程	4	30	0	120	学士 (教育学)	1.02	1.01	－	昭和51	大阪府柏原市旭ヶ丘四丁目698番地の1			
教育協働学科	4	350	0	1400	学士 (教育学)	1.05	1.01	－	平成29	同上			
初等教育教員養成課程	4	－	－	－	学士 (教育学)	－	－	－	平成29	大阪府柏原市旭ヶ丘四丁目698番地の1 （3年次より大阪府大阪市天王寺区南河堀町4番88号）	令和6年度入学生より学生募集停止		
初等教育教員養成課程（夜間）	5	－	－	－	学士 (教育学)	－	－	－	平成29	大阪府大阪市天王寺区南河堀町4番88号	令和6年度入学生より学生募集停止		
学校教育教員養成課程	4	－	－	－	学士 (教育学)	－	－	－	平成29	大阪府柏原市旭ヶ丘四丁目698番地の1	令和6年度入学生より学生募集停止		
教養学科	4	－	－	－	学士 (教養)	－	－	－	昭和63	同上	平成29年度入学生より学生募集停止		
大学全体	4	860	0	2040	－	－	－	－	－	－			
	5	40											

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<教育学部 学校教育教員養成課程（夜間）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田中 俊弥 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		大阪学a 大阪学b 教職実践演習（小） 初等国語科教育法（書写を含む。） 学校インターンシップ体験 国語a（書写及びICTの活用を含む。） 国語b（書写及びICTの活用を含む。） 学校インターンシップI 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究
専	教授	裴 光雄 ＜令和6年4月＞ 経済学修士※
		情報活用基礎III 教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 生活a（ICTの活用を含む。） 生活b（ICTの活用を含む。） 学校インターンシップI 社会科学習指導研究a 社会科学習指導研究b 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田中 俊弥 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		大阪学・歴史コース 大阪学・賑わいコース 教職実践演習（小） 初等国語科教育法（書写を含む。） 学校インターンシップ体験 国語a（書写及びICTの活用を含む。） 国語b（書写及びICTの活用を含む。） 学校インターンシップI 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究
専	教授	裴 光雄 ＜令和6年4月＞ 経済学修士※
		教職実践演習（小） 現代社会と子どもの権利 学校インターンシップ体験 生活a（ICTの活用を含む。） 生活b（ICTの活用を含む。） 学校インターンシップI 社会科学習指導研究a 社会科学習指導研究b 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究
専	教授	牧 郁子 ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		スタディスキル入門※ 教育相談の理論と方法 教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 心理学特講a 心理学特講b 心理学研究法a 心理学研究法b 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森岡 達史
		＜令和6年4月＞ 博士（理学）
専	准教授	生馬 裕子
		＜令和6年4月＞ 博士（学術）
専	准教授	小林 翔
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	生馬 裕子
		＜令和6年4月＞ 博士（学術）
専	准教授	小林 翔
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高松 みどり
		＜令和6年4月＞ DOKTORIN DER PHILOSOPHIE（独国） 教職へのとびら 教育総論 道徳教育論a 道徳教育論b 教職実践演習（小） 教職のための省察入門 学校インターンシップ体験 教育学研究Ia 教育学研究Ib 学校インターンシップI 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究
専	准教授	野田 航
		＜令和6年4月＞ 博士（心理学） 特別支援教育の実践 特別支援教育の基礎 教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 応用行動分析学a 応用行動分析学b 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究
専	准教授	藪田 直子
		＜令和6年4月＞ 博士（人間科学） 教職実践演習（小） ダイバーシティと教育 現代社会と子どもの権利 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 学校インターンシップII 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高松 みどり
		＜令和6年4月＞ DOKTORIN DER PHILOSOPHIE（独国） 教職へのとびら※ 教育総論 教育課程論（カリキュラム・マネジメントを含む。） 道徳教育論a 道徳教育論b 教育方法論 教職実践演習（小） 教職のための省察入門※ 学校インターンシップ体験 教育学研究Ia 教育学研究Ib 学校インターンシップI 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究
専	准教授	野田 航
		＜令和6年4月＞ 博士（心理学） 特別支援教育の実践 特別支援教育の基礎 教職実践演習（小） 多様な子どもとインクルーシブ教育※ 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 応用行動分析学a 応用行動分析学b 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究
専	准教授	藪田 直子
		＜令和6年4月＞ 博士（人間科学） 教職実践演習（小） ダイバーシティと教育 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	岡部 舞
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
専	講師	橋元 真央
		＜令和6年4月＞ 博士（学術）
専	講師	大学入門ゼミ 健康と科学a 健康と科学b スポーツ実技I スポーツ実技II 教職実践演習（小） 体育科教育法 学校インターンシップ体験 体育a（ICTの活用を含む。） 体育b（ICTの活用を含む。） 学校インターンシップI 学校インターンシップII 体育科学習指導研究a 体育科学習指導研究b 課題研究I 課題研究II 卒業研究
		教職実践演習（小） 初等理科教育法 学校インターンシップ体験 理科a（ICTの活用を含む。） 理科b（ICTの活用を含む。） 生活a（ICTの活用を含む。） 生活b（ICTの活用を含む。） 学校インターンシップI 理科の実験Ia 理科の実験Ib 学校インターンシップII 理科の実験IIa 理科の実験IIb 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	岡部 舞
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
専	准教授	橋元 真央
		＜令和6年4月＞ 博士（学術）
専	准教授	大学入門ゼミ 健康と科学 スポーツと科学 スポーツ実技I スポーツ実技II 教職実践演習（小） 体育科教育法 学校インターンシップ体験 体育a（ICTの活用を含む。） 体育b（ICTの活用を含む。） 学校インターンシップI 学校インターンシップII 学校保健学a 学校保健学b 体育科学習指導研究a 体育科学習指導研究b 課題研究I 課題研究II 卒業研究
		スタディスキル入門※ 教職実践演習（小） 初等理科教育法 学校インターンシップ体験 理科a（ICTの活用を含む。） 理科b（ICTの活用を含む。） 生活a（ICTの活用を含む。） 生活b（ICTの活用を含む。） 学校インターンシップI 理科の実験Ia 理科の実験Ib 学校インターンシップII 理科の実験IIa 理科の実験IIb 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	柳岡 開地
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		心理学入門a 心理学入門b 大阪の教育実践a 大阪の教育実践b 情報活用基礎III 発達と学習の心理学a 発達と学習の心理学b 教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究
兼任	教授	赤木 登代
		＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		国際協働学習
兼任	教授	池上 英明
		＜令和6年4月＞ 教育学士
		教育実習I 教育実習II
兼任	教授	石川 聡子
		＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		教育実習I 教育実習II
兼任	教授	臼井 智美
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		外国人の子どもの理解と支援
兼任	教授	亀井 一
		＜令和6年4月＞ 文学修士
		ドイツ語IA ドイツ語IB ドイツ語II

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	赤木 登代
		＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		国際協働学習
兼任	教授	池上 英明
		＜令和6年4月＞ 教育学士
		教育実習I 教育実習II
兼任	教授	井坂 行男
		＜令和6年4月＞ 教育学修士 多様な子どもとインクルーシブ教育※
兼任	教授	石川 聡子
		＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		教育実習I 教育実習II
兼任	教授	臼井 智美
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		外国人の子どもの理解と支援
兼任	教授	大内田 裕
		＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学） 多様な子どもとインクルーシブ教育※
兼任	教授	亀井 一
		＜令和6年4月＞ 文学修士
		ドイツ語IA ドイツ語IB ドイツ語II

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木原 俊行
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		教育課程論（カリキュラム・マネジメントを含む。） 教育方法論
兼任	教授	小松 孝至
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		教育データの活用I
兼任	教授	坂本 俊哉
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		教職へのとびら 総合的な学習の時間の指導法 特別活動論 教育実習I 教育実習II
兼任	教授	佐々木 靖
		＜令和6年4月＞ 教育学士
		学校安全a 学校安全b
兼任	教授	佐藤 一好
		＜令和6年4月＞ 文学修士
		文学入門a 文学入門b 教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 学校インターンシップII 国語科学習指導研究a 国語科学習指導研究b 課題研究I 課題研究II 卒業研究
兼任	教授	鈴木 康文
		＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		教科横断と探究学習I
兼任	教授	銭本 三千宏
		＜令和6年4月＞ 教育学士
		学校の役割と経営
兼任	教授	田中 満公子
		＜令和6年4月＞ 文学士
		学校の役割と経営

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小松 孝至
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		教育データの活用I
兼任	教授	坂本 俊哉
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		教職へのとびら※ 教職のための省察入門※ 総合的な学習の時間の指導法 特別活動論 教育実習I 教育実習II
兼任	教授	佐々木 靖
		＜令和6年4月＞ 教育学士
		学校安全a 学校安全b
兼任	教授	佐藤 一好
		＜令和6年4月＞ 文学修士
		文学入門 比較文学入門 教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 学校インターンシップII 国語科学習指導研究a 国語科学習指導研究b 課題研究I 課題研究II 卒業研究
兼任	教授	鈴木 康文
		＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		教科横断と探究学習I
兼任	教授	銭本 三千宏
		＜令和6年4月＞ 教育学士
		学校の役割と経営

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	種村 雅子
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		生活a（ICTの活用を含む。） 生活b（ICTの活用を含む。）
兼任	教授	土山 和久
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		ファシリテーターとしての教員I 学習者中心の授業デザインI 学習者中心の授業デザインII
兼任	教授	戸田 有一
		＜令和6年4月＞ 教育学修士※
		教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 学校インターンシップII 卒業研究
兼任	教授	中橋 美穂
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		教育実習I 教育実習II 教職実践演習（小） 教職のための省察入門 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 学校インターンシップII 卒業研究
兼任	教授	中山 あおい
		＜令和6年4月＞ 修士（地域研究）※ 国際協働学習

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	種村 雅子
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		生活a（ICTの活用を含む。） 生活b（ICTの活用を含む。）
兼任	教授	田村 知子
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		教育課程論（カリキュラム・マネジメントを含む。） 教育課程論
兼任	教授	土山 和久
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		ファシリテーターとしての教員I 学習者中心の授業デザインI 学習者中心の授業デザインII
兼任	教授	寺嶋 浩介
		＜令和6年4月＞ 博士（情報学）
		教育課程論（カリキュラム・マネジメントを含む。） 教育方法論
兼任	教授	戸田 有一
		＜令和6年4月＞ 教育学修士※
		教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 学校インターンシップII 卒業研究
兼任	教授	富永 光昭
		＜令和6年4月＞ 教育学修士 多様な子どもとインクルーシブ教育※
兼任	教授	中橋 美穂
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		教育実習I 教育実習II 教職実践演習（小） 教職のための省察入門 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 学校インターンシップII 卒業研究
兼任	教授	中山 あおい
		＜令和6年4月＞ 修士（地域研究）※ 国際協働学習

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	箱崎 雄子 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 国際協働学習
兼任	教授	牧 郁子 ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学） 教育相談の理論と方法 教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 心理学特講a 心理学特講b 心理学研究法a 心理学研究法b 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究
兼任	教授	松井 祐 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 教職実践演習（小） 図画工作科教育法 学校インターンシップ体験 図画工作a（ICTの活用を含む。） 図画工作b（ICTの活用を含む。） 学校インターンシップI 学校インターンシップII 図画工作科学習指導研究a 図画工作科学習指導研究b 課題研究I 課題研究II 卒業研究
兼任	教授	峯 明秀 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学） 教科横断と探究学習I 学習者中心の授業デザインI 学習者中心の授業デザインII

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	西山 健 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 多様な子どもとインクルーシブ教育※
兼任	教授	箱崎 雄子 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 国際協働学習
兼任	教授	早野 真美 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 多様な子どもとインクルーシブ教育※
兼任	教授	松井 祐 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 教職実践演習（小） 図画工作科教育法 学校インターンシップ体験 図画工作a（ICTの活用を含む。） 図画工作b（ICTの活用を含む。） 学校インターンシップI 学校インターンシップII 図画工作科学習指導研究a 図画工作科学習指導研究b 課題研究I 課題研究II 卒業研究
兼任	教授	峯 明秀 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学） 教科横断と探究学習I 学習者中心の授業デザインI 学習者中心の授業デザインII
兼任	教授	山近 博義 ＜令和6年4月＞ 文学修士※ 社会a（ICTの活用を含む。）

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	井上 功一
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
兼任	准教授	江藤 亮
		＜令和6年4月＞ 修士（デザイン学） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
兼任	准教授	垣本 徹
		＜令和6年4月＞ 教育学士 情報活用基礎Ⅰ 情報活用基礎Ⅱ 教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 学校インターンシップⅠ ものづくり教育研究a ものづくり教育研究b 学校インターンシップⅡ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 卒業研究
兼任	准教授	加藤 あや子
		＜令和6年4月＞ 学士（音楽） 教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 学校インターンシップⅠ 学校インターンシップⅡ 卒業研究
兼任	准教授	貴志 泉
		＜令和6年4月＞ 体育学士 ジェンダーとセクシュアリティa ジェンダーとセクシュアリティb
兼任	准教授	齋藤 直子
		＜令和6年4月＞ 博士（学術） 人権教育の基礎 人権教育の実践
兼任	准教授	高嶺 裕樹
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 情報メディアの活用

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	井上 功一
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
兼任	准教授	江藤 亮
		＜令和6年4月＞ 修士（デザイン学） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
兼任	准教授	垣本 徹
		＜令和6年4月＞ 教育学士 情報活用基礎Ⅰ 情報活用基礎Ⅱ 情報活用基礎ⅢⅠ 教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 学校インターンシップⅠ ものづくり教育研究a ものづくり教育研究b 学校インターンシップⅡ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 卒業研究
兼任	准教授	加藤 あや子
		＜令和6年4月＞ 学士（音楽） 教職実践演習（小） 外国人の子どもの理解と支援 学校インターンシップ体験 学校インターンシップⅠ 学校インターンシップⅡ 卒業研究
兼任	准教授	齋藤 直子
		＜令和6年4月＞ 博士（学術） 人権教育の基礎 人権教育の実践
兼任	准教授	高嶺 裕樹
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 情報メディアの活用

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	富永 雅
		＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		教職実践演習（小） 算数科教育法 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究
兼任	准教授	庭山 和貴
		＜令和6年4月＞ 博士（心理学）
		発達障害教育論
兼任	准教授	八田 幸恵
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		教職専門性と省察
兼任	准教授	平井 美幸
		＜令和6年4月＞ 博士（心理学）
		学校安全a 学校安全b
兼任	准教授	平賀 健太郎
		＜令和6年4月＞ 博士（心理学）
		多様な子どもとインクルーシブ教育
兼任	准教授	吉田 茂孝
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		学習者中心の授業デザインI 学習者中心の授業デザインII

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	富永 雅
		＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		教職実践演習（小） 算数科教育法 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究
兼任	准教授	庭山 和貴
		＜令和6年4月＞ 博士（心理学）
		発達障害教育論
兼任	准教授	八田 幸恵
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		教職専門性と省察
兼任	准教授	平井 美幸
		＜令和6年4月＞ 博士（心理学）
		学校安全a 学校安全b
兼任	教授	平賀 健太郎
		＜令和6年4月＞ 博士（心理学）
		多様な子どもとインクルーシブ教育※
兼任	准教授	正井 隆晶
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		多様な子どもとインクルーシブ教育※
兼任	准教授	吉田 茂孝
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		学習者中心の授業デザインI 学習者中心の授業デザインII

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	吉野 秀幸
		＜令和6年4月＞ 教育学修士
		教育実習I 教育実習II 教職実践演習（小） 初等音楽科教育法 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 学校インターンシップII 音楽科学習指導研究a 音楽科学習指導研究b 課題研究I 課題研究II 卒業研究
兼任	准教授	王 林鋒
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		教科横断と探究学習I ファシリテーターとしての教員I
兼任	講師	安積 典子
		＜令和6年4月＞ 薬学博士
		身の回りの科学a 身の回りの科学b
兼任	講師	芦田 祐佳
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		総合的な学習の時間の指導法 特別活動論 教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 生活a（ICTの活用を含む。） 生活b（ICTの活用を含む。） 学校インターンシップI 教育学研究IIa 教育学研究IIb 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	吉野 秀幸
		＜令和6年4月＞ 教育学修士
		教育実習I 教育実習II 教職実践演習（小） 初等音楽科教育法 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 学校インターンシップII 音楽科学習指導研究a 音楽科学習指導研究b 課題研究I 課題研究II 卒業研究
兼任	准教授	王 林鋒
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		教科横断と探究学習I ファシリテーターとしての教員I
兼任	講師	安積 典子
		＜令和6年4月＞ 薬学博士
		身の回りの科学（問いを発見する） 身の回りの科学（作ってみる）
兼任	講師	芦田 祐佳
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		総合的な学習の時間の指導法 特別活動論 教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 生活a（ICTの活用を含む。） 生活b（ICTの活用を含む。） 学校インターンシップI 教育学研究IIa 教育学研究IIb 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究
兼任	講師	今枝 史雄
		＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		多様な子どもとインクルーシブ教育※
兼任	講師	岩崎 弘
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		多様な子どもとインクルーシブ教育※

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森本 和寿
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 教科横断と探究学習I ファシリテーターとしての教員I
兼任	講師	若杉 祥太
		＜令和6年4月＞ 博士（学術） ICT活用の理論と方法 教育データの活用I
兼任	講師	秋吉 博之
		＜令和6年4月＞ 博士（学術） 初等理科教育法
兼任	講師	荒木 規夫
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 生徒指導論 進路指導論
兼任	講師	石井 里奈
		＜令和6年4月＞ 学士（文学） キャリア教育a キャリア教育b

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森本 和寿
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 教科横断と探究学習I ファシリテーターとしての教員I
兼任	講師	柳岡 開地
		＜令和6年4月＞ 博士（教育学） 心理学入門（学習・認知・情動） 心理学入門（教育・発達） 大阪の教育実践I 大阪の教育実践II 発達と学習の心理学a 発達と学習の心理学b 教職実践演習（小） 学校インターンシップ体験 学校インターンシップI 学校インターンシップII 課題研究I 課題研究II 卒業研究
兼任	講師	湯浅 哲也
		＜令和6年4月＞ 修士（文学，障害科学） 多様な子どもとインクルーシブ教育※
兼任	講師	若杉 祥太
		＜令和6年4月＞ 博士（学術） ICT活用の理論と方法 教育データの活用I
兼任	講師	荒木 規夫
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 生徒指導論 進路指導論
兼任	講師	石堂 裕
		＜令和6年4月＞ 教育学修士 教育課程論（カリキュラム・マネジメントを含む。） 教育方法論

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 由紀子
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 初等英語科教育法
兼任	講師	岩瀬 謙一
		＜令和6年4月＞ 博士（理学） 算数a（ICTの活用を含む。） 算数b（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	内川 育子
		＜令和6年4月＞ 法学士 読書教育と図書館
兼任	講師	内田 善久
		＜令和6年4月＞ 学士（法学） 発達と学習の心理学a 発達と学習の心理学b
兼任	講師	大木 愛一
		＜令和6年4月＞ 芸術学士 音楽b（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	奥菌 みどり
		＜令和6年4月＞ 教育学士 保育と子ども
兼任	講師	奥田 修一郎
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 人文・社会科学入門a 人文・社会科学入門b
兼任	講師	狩野 ゆき
		＜令和6年4月＞ 家政学士 学校経営と学校図書館

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 由紀子
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 初等英語科教育法
兼任	講師	井上 省三
		＜令和6年4月＞ 法学士 キャリアデザイン（自己表現） キャリア形成（教員）
兼任	講師	岩瀬 謙一
		＜令和6年4月＞ 博士（理学） 算数a（ICTの活用を含む。） 算数b（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	岩野 牧人
		＜令和6年4月＞ 教職修士 初等音楽科教育法
兼任	講師	内川 育子
		＜令和6年4月＞ 法学士 読書教育と図書館
兼任	講師	内田 善久
		＜令和6年4月＞ 学士（法学） 発達と学習の心理学a 発達と学習の心理学b
兼任	講師	大木 愛一
		＜令和6年4月＞ 芸術学士 音楽b（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	奥菌 みどり
		＜令和6年4月＞ 教育学士 保育と子ども
兼任	講師	奥田 修一郎
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 人文・社会科学入門（身近な経済） 人文・社会科学入門（経済入門）
兼任	講師	狩野 ゆき
		＜令和6年4月＞ 家政学士 学校経営と学校図書館

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鎌田 剛史
		＜令和6年4月＞ 教育学士
		スポーツ実技I スポーツ実技II
兼任	講師	川中 達治
		＜令和6年4月＞ 修士（法学）※
		日本国憲法
兼任	講師	小林 達也
		＜令和6年4月＞ 修士（図書館情報学）
		学習指導と学校図書館
兼任	講師	小林 政司
		＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		生活科学a 生活科学b
兼任	講師	島崎 圭介
		＜令和6年4月＞ 修士（学術）
		英語IA 英語IB
兼任	講師	清水 大
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		初等社会科教育法
兼任	講師	白石 大悟
		＜令和6年4月＞ 修士（学術）
		体育a（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	鈴木 和代
		＜令和6年4月＞ 教育学修士
		音楽a（ICTの活用を含む。）

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鎌田 剛史
		＜令和6年4月＞ 教育学士
		スポーツ実技I スポーツ実技II
兼任	講師	川中 達治
		＜令和6年4月＞ 修士（法学）※
		日本国憲法
兼任	講師	栗本 敦子
		＜令和6年4月＞ 学士（法学）
		ジェンダーと性の多様性ー私から考える編 ジェンダーと性の多様性ー社会を読み解く編
兼任	講師	香田 健治
		＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）
		生活科教育法
兼任	講師	小林 達也
		＜令和6年4月＞ 修士（図書館情報学）
		学習指導と学校図書館
兼任	講師	小林 政司
		＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		生活科学a 生活科学b
兼任	講師	清水 大
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		初等社会科教育法
兼任	講師	白石 大悟
		＜令和6年4月＞ 修士（学術）
		体育a（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	鈴木 和代
		＜令和6年4月＞ 教育学修士
		音楽a（ICTの活用を含む。）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	関口 靖之
		＜令和6年4月＞ 教育学修士
		社会a（ICTの活用を含む。） 社会b（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	宋 基榮
		＜令和6年4月＞ 博士（国際関係学）
		韓国語IA 韓国語IB 韓国語II
兼任	講師	高井 照隆
		＜令和6年4月＞ 短期大学士（音楽）
		身体表現とコミュニケーションa 身体表現とコミュニケーションb
兼任	講師	出野 卓也
		＜令和6年4月＞ 理学博士
		生物の情報a 生物の情報b
兼任	講師	DEVINE JAMES PATRICK
		＜令和6年4月＞ Master of Arts in Applied Linguistics（英国）
		英語II（外国語コミュニケーション）
兼任	講師	中井 精一
		＜令和6年4月＞ 農学修士
		道德教育論a 道德教育論b
兼任	講師	中谷 孝平
		＜令和6年4月＞ Master in de Muziek（白国）
		芸術a 芸術b 音楽b（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	西川 秀智
		＜令和6年4月＞ 教育学修士
		生活科教育法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	関口 靖之
		＜令和6年4月＞ 教育学修士
		社会a（ICTの活用を含む。） 社会b（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	宋 基榮
		＜令和6年4月＞ 博士（国際関係学）
		韓国語IA 韓国語IB 韓国語II
兼任	講師	高井 照隆
		＜令和6年4月＞ 短期大学士（音楽）
		身体表現とコミュニケーション（理論編） 身体表現とコミュニケーション（実践編）
兼任	講師	竹歳 賢一
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		数学概論（数列編） 数学概論（関数編）
兼任	講師	出野 卓也
		＜令和6年4月＞ 理学博士
		生物の情報a 生物の情報b
兼任	講師	DEVINE JAMES PATRICK
		＜令和6年4月＞ Master of Arts in Applied Linguistics（英国）
		英語II（外国語コミュニケーション）
兼任	講師	中井 精一
		＜令和6年4月＞ 農学修士
		道德教育論a 道德教育論b
兼任	講師	中谷 孝平
		＜令和6年4月＞ Master in de Muziek（白国）
		芸術（器楽） 芸術（歌唱） 音楽b（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	西川 秀智
		＜令和6年4月＞ 教育学修士
		生活科教育法

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	服部 正志
		＜令和6年4月＞ 修士（芸術）
		図画工作a（ICTの活用を含む。） 図画工作b（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	林 照子
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		学校保健学a 学校保健学b
兼任	講師	POLLOCK TIMOTHY WAYNE
		＜令和6年4月＞ Master of Arts（豪州）
		言語表現とコミュニケーションa 言語表現とコミュニケーションb
兼任	講師	福井 雄大
		＜令和6年4月＞ 修士（政策科学）
		学校図書館メディアの構成
兼任	講師	福重 隆至
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		体育b（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	松原 千明
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		保育と子ども
兼任	講師	三島 郁
		＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		初等音楽科教育法
兼任	講師	水野 恵司
		＜令和6年4月＞ 理学博士
		社会a（ICTの活用を含む。） 社会b（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	森 実
		＜令和6年4月＞ 学術修士※
		ダイバーシティと人権a ダイバーシティと人権b

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	服部 正志
		＜令和6年4月＞ 修士（芸術）
		図画工作a（ICTの活用を含む。） 図画工作b（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	POLLOCK TIMOTHY WAYNE
		＜令和6年4月＞ Master of Arts（豪州）
		言語表現とコミュニケーションa 言語表現とコミュニケーションb
兼任	講師	福井 雄大
		＜令和6年4月＞ 修士（政策科学）
		学校図書館メディアの構成
兼任	講師	福重 隆至
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		体育b（ICTの活用を含む。）
兼任	講師	松原 千明
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		保育と子ども
兼任	講師	松本 明美
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		算数a（ICTの活用を含む。） 算数b（ICTの活用を含む。） 数学・数学教育研究a 数学・数学教育研究b
兼任	講師	水野 恵司
		＜令和6年4月＞ 理学博士
		社会b（ICTの活用を含む。）

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	勸 儲
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		中国語IA 中国語IB 中国語II
兼任	講師	和田 博子
		＜令和6年4月＞ 学士（教育学）
		初等家庭科教育法 家庭a（ICTの活用を含む。） 家庭b（ICTの活用を含む。）

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	勸 儲
		＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		中国語IA 中国語IB 中国語II
兼任	講師	和田 博子
		＜令和6年4月＞ 学士（教育学）
		初等家庭科教育法 家庭a（ICTの活用を含む。） 家庭b（ICTの活用を含む。）

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・教員配置の変更により、柳岡開地講師を専任教員から兼任教員に、牧郁子教授を兼任教員から専任教員に変更
- ・教員逝去のため、森岡達史教授を専任教員から削除
- ・退職に伴い、木原俊行教授、田中満公子教授、貴志泉准教授を兼任教員から削除
- ・カリキュラム編成の見直しにより、井坂行男教授、大内田裕教授、田村知子教授、寺嶋浩介教授、富永光昭教授、西山健教授、早野眞美教授、山近博義教授、正井隆晶准教授、今枝史雄講師、岩崎弘講師、湯浅哲也講師を兼任教員に追加
- ・カリキュラム編成の見直しにより、秋吉博之講師、石井里奈講師、島崎圭介講師、西川秀智講師、林照子講師、三島郁講師、森実講師を兼任教員から削除
- ・カリキュラム編成の見直しにより、石堂裕講師、井上省三講師、岩野牧人講師、栗本敦子講師、香田健治講師、竹歳賢一講師、松本明美講師を兼任教員に追加
- ・昇任により、橋元真央講師を准教授に、平賀健太郎准教授を教授に変更
- ・カリキュラム編成の見直しにより、裴光雄教授、牧郁子教授、生馬裕子准教授、小林翔准教授、高松みどり准教授、野田航准教授、藪田直子准教授、橋元真央准教授、岡部舞講師、坂本俊哉教授、垣本徹准教授、加藤あや子准教授、柳岡開地講師、水野恵司講師の担当科目を変更

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）」の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
3	5	3	0	11	0	3	6	1	0	10	0
(3)	(5)	(3)	(0)	(11)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
3	6	1	0	10	0	3	6	1	0	10	0
[0]	[1]	[Δ2]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[1]	[Δ2]	[0]	[Δ1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、「教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 70（特任教員） 歳	0	0
	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{11} = \boxed{90.9} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	森岡 達史	R5. 12	必修	大学入門ゼミ	①	R5. 12教員逝去のため（6）						
				選択	数学概論a	②							
				選択	数学概論b	②							
				必修	教職実践演習（小）	①							
				必修	学校インターンシップ体験	①							
				必修	算数a（ICTの活用を含む。）	②							
				必修	算数b（ICTの活用を含む。）	②							
				選択	学校インターンシップI	①							
				選択	数学・数学教育研究a	②							
				選択	数学・数学教育研究b	②							
				選択	学校インターンシップII	①							
				必修	課題研究I	①							
				必修	課題研究II	①							
				必修	卒業研究	①							
2	講師	柳岡 開地	R6. 3	選択	心理学入門a	②	R6. 3教員配置の変更により専任から兼担となったため就任辞退（6）						
				選択	心理学入門b	②							
				選択	大阪の教育実践a	②							
				選択	大阪の教育実践b	②							
				必修	情報活用基礎III	②							
				必修	発達と学習の心理学a	②							
				必修	発達と学習の心理学b	②							
				必修	教職実践演習（小）	②							
				必修	学校インターンシップ体験	②							
				選択	学校インターンシップI	②							
				選択	学校インターンシップII	②							
				必修	課題研究I	②							
				必修	課題研究II	②							
				必修	卒業研究	②							
合 計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
2	人	必修	16	科目	必修	6	科目	必修	10	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	2	科目	選択	10	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	28	科目	計	8	科目	計	20	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) 一② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
			該当なし							
合計（F）						後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
2	人	必修	16 科目	必修	6 科目	必修	10 科目	必修	0 科目		
		選択	12 科目	選択	2 科目	選択	10 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	28 科目	計	8 科目	計	20 科目	計	0 科目		

(3) 一④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3) \text{ 合計 (D)+(F)}}{(2)-(2) \text{ 設置時の計画 (A)}} = \frac{2}{11} = 18.18 \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

各科目については、専任教員、兼任教員または兼任教員が担当することとしており、教育上の支障はない。
学生への周知については、時間割等により周知している。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和5年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 学校教育教員養成課程（夜間）>

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更なし
② 施設・設備	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 ファカルティ・ディベロップメント事業推進委員会（関係規程添付） b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和5年度には、オンライン会議を6回（4/10、6/1、9/8、2/7、2/21、3/21）、書面会議を4回開催した。オンライン会議では1回につき、委員6名のところ平均5.2名が参加した。 c 委員会の審議事項等 （１）全学FDに関する基本方針の策定に関する事項 （２）全学FD事業の企画・運営・実施に関する事項 （３）全学FD事業の評価に関する事項 （４）学外とのFDに関わる連携に関する事項 （５）その他委員会が必要と認める事項 ② 実施状況 a 実施内容 ・全学FD事業 ・新規採用教員FD研修 ・教員相互の授業参観 ・成績評価の厳格化への取り組み b 実施方法 ・全学FD事業 年に3回程度テーマを変えて開催している。 ・新規採用教員FD研修 学校現場で指導経験のない新規採用教員を対象とした附属学校での教育実習の参観研修を実施している。 ・教員相互の授業参観 参観を希望する教員が授業担当教員へ連絡し、任意の時期に参観を行っている。 ・成績評価の厳格化への取り組み 同一名称複数開講科目に係る成績分布の精査・分析を学期ごとにまとめ、開講部局へ改善を促している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・全学FD事業

令和5年度は全学FD事業を4回実施した。

5/31に「教員養成フラッグシップ大学企画(第1弾)」を開催し、約100名が参加した。

7/5に「教員養成フラッグシップ大学企画(第2弾)」を開催し、約120名が参加した。

1/17に「教員養成フラッグシップ大学企画(第3弾)」を開催し、約90名が参加した。

3/18に「データ分析カンファレンス～学習調査の近年の推移～」を開催し、約50名が参加した。

・新規採用教員FD研修

新規採用教員9名は令和5年9月の教育実習参観に参加し、教育実習参観終了後に研修報告書を提出した。

・教員相互の授業参観

6/12～2/2の授業期間内に行われ、期間中に延べ約20名の教員が参観した。

・成績評価の厳格化への取り組み

令和5年度は令和3年度前期・後期及び令和4年度前期・後期の2年間の成績分布について分析を実施した。

不可の割合が40%以上の科目に着目し、分析した結果を総括として作成し、部局に通知した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果や参加状況を各部局へ通知し、FD活動に参加するよう各教員へ促す。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期（5月～8月）及び後期（11月～翌年2月）に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては結果をWEBで通知するとともに、どのような改善や工夫を行ったかアンケートを行っている。
また、学生へは大学のホームページ上で集計結果を公開している。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・本課程は、令和6年4月改組から間もないため、現時点で評価することは困難であるが、設置計画どおりに順調に推移しているものと考えられる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和7年1月

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公表予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和9年度に機関別認証評価を受審する予定である。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ 無]

※ aで「有」の場合※

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

※ aで公表「無」の場合※

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。